

	(略)	(略)	8,500 15,000 3,000	
	(略)	(略)	7,650 13,000 2,600	
	(略)	(略)	5,100 3,500 3,350 1,050	(略)

オ～キ (略)

備考

(略)

(2) 義肢一骨格構造義肢

名 称	型 式	使用材料・部品及び工作法	価 格	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	カナダ式	(略)	(略)	片側骨盤切断用を含むものであること。
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

注

1 ～ 4 (略)

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(略)	(略)
(略)	ストッキネットの被覆、強化材の付加、 <u>P V A バック</u> の被覆、 <u>樹脂注型</u> 、取外し及びソケットトリミング
(略)	
(略)	義手：継手等各部の組合せ及び結合並びにハーネスの取付け 義足： <u>アライメントカップリング</u> の取付け、ベンチアライメントの設定、各部の組合せ及び結合、懸垂装置の取付け並びに角度調整
(略)	(略)
(略)	義手：フォームラバーの穴掘り及び外形の研削、ストッキネットの被覆 義足： <u>アライメントカップリング</u> の取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(略)	(略)

	大 腿 部	皮 革 プラスチック 塗 装	8,250 14,800 2,900	
	下 腿 部	皮 革 プラスチック 塗 装	7,500 12,800 2,550	
	足 部	表 革 裏 革 塗 装 リアルソックス	5,000 3,450 3,300 1,050	(略)

オ～キ (略)

備考

(略)

(2) 義肢一骨格構造義肢

名 称	型 式	使用材料・部品及び工作法	価 格	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
股 義 足	カナディアン式	(略)	(略)	片側骨盤切除用を含むものであること。
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

注

1 ～ 4 (略)

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(略)	(略)
(カ) ソケットの製作	ストッキネットの被覆、強化材の付加、 <u>P V A スリーブ</u> の被覆、 <u>樹脂の注型</u> 、取外し及びソケットトリミング
(略)	
(ク) 組み立て	義手：継手等各部の組合せ及び結合並びにハーネスの取付け 義足： <u>カップリング</u> の取付け、ベンチアライメントの設定、各部の組合せ及び結合、懸垂装置の取付け並びに角度調整
(略)	(略)
(コ) 外装及び仕上げ	義手：フォームラバーの穴掘り及び外形の研削、ストッキネットの被覆 義足： <u>カップリング</u> の取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(略)	(略)

イ (略)  
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>34,200</u>	肩甲胸郭間切断用は、 <u>13,700円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>36,300</u>	吸着式は、 <u>26,300円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>32,100</u>	顆上懸垂式は、 <u>13,100円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>19,700円</u> 増しとすること。
(略)	(略)	カナダ式	<u>104,200</u>	片側骨盤切断用は、 <u>17,900円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>68,200</u> <u>113,100</u> <u>156,700</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>51,500円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>55,500円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>66,500</u> <u>87,400</u> <u>131,000</u>	
	(略)	(略)	<u>54,200</u> <u>76,900</u> <u>92,200</u> <u>94,900</u>	大腿支柱付きは、 <u>24,400円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>44,000</u> <u>66,300</u>	
	(略)	(略)		

注)

- 1 顆上懸垂式は、ミュンスター式及びノースウェスタン式とすること。
- 2 ソフトインサートのシリコン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、45,400円加算できること。
- 3 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顆上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,150円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

イ (略)  
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	装 飾 用	<u>33,600</u>	肩甲胸郭間切断用は、 <u>13,300円</u> 増しとすること。
	A－2	装 飾 用	<u>35,700</u>	吸着式は、 <u>25,900円</u> 増しとすること。
	A－3	装 飾 用	<u>31,600</u>	顆上支持式は、 <u>12,900円</u> 増しとすること。 スプリット式は、 <u>19,400円</u> 増しとすること。
義 足 用	B－1	カナディアン式	<u>86,600</u>	片側骨盤切断用は、 <u>17,600円</u> 増しとすること。
	B－2	差 込 式 ライナー式 吸 着 式	<u>54,300</u> <u>98,300</u> <u>141,300</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>50,300円</u> 増しとすること。 I R Cソケットは、 <u>54,500円</u> 増しとすること。
	B－3	差 込 式 ライナー式 吸 着 式	<u>52,600</u> <u>73,000</u> <u>116,000</u>	
	B－4	差 込 式 P T B 式 P T S 式 K B M 式	<u>40,600</u> <u>63,000</u> <u>78,100</u> <u>80,700</u>	大腿支柱付きは、 <u>23,900円</u> 増しとすること。
	B－5	差 込 式 有 窓 式	<u>43,300</u> <u>65,300</u>	

注)

- 1 顆上支持式は、ミュンスタータイプ及びノースウェスタンタイプとすること。
- 2 ソフトインサートのシリコン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、44,500円加算できること。
- 3 I R Cソケットを除く吸着式、顆上支持式、スプリット式のチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、7,800円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

エ 製作要素価格  
(ア) ソケット

名 称	採型区分	使 用 材 料	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>11,000</u>	
			<u>9,000</u>	
			<u>20,200</u>	
			<u>5,150</u>	
	(略)	(略)	<u>9,750</u>	
			<u>11,800</u>	
			<u>13,900</u>	
			<u>6,650</u>	
	(略)	(略)	<u>8,550</u>	
			<u>11,700</u>	
			<u>13,600</u>	
			<u>4,700</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>21,800</u>	
			<u>36,300</u>	
			<u>15,000</u>	
	(略)	(略)	<u>49,500</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,500円</u>
			<u>14,500</u>	増しとすること。
				二重式ソケットは、内ソケットの使用
			<u>19,200</u>	材料の価格を加算することができるこ
			<u>28,000</u>	と。
			<u>16,600</u>	主たる積層材にカーボンストッキネッ
				トを用い樹脂注型を行う場合は、
				<u>17,700円</u> 増しとすること。

エ 製作要素価格  
(ア) ソケット

名 称	採型区分	使 用 材 料	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	アルミニウム、セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>10,800</u>	
			<u>8,850</u>	
			<u>19,900</u>	
			<u>5,050</u>	
	A－2	アルミニウム、セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>9,600</u>	
			<u>11,600</u>	
			<u>13,600</u>	
			<u>6,550</u>	
	A－3	アルミニウム、セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>8,450</u>	
			<u>11,500</u>	
			<u>13,300</u>	
			<u>4,600</u>	
義 足 用	B－1	アルミニウム、セルロイド 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>21,400</u>	
			<u>35,300</u>	
			<u>14,800</u>	
	B－2	木 製 アルミニウム、セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>48,200</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,100円</u>
			<u>14,200</u>	増しとすること。
			<u>18,800</u>	二重式ソケットは、内ソケットの使用
			<u>27,300</u>	材料の価格を加算することができるこ
			<u>16,100</u>	と。
				主たる積層材にカーボンストッキネッ
				トを用い樹脂注型を行う場合は、
				<u>16,900円</u> 増しとすること。

(略)	(略)	<u>14,800</u> <u>24,700</u> <u>41,400</u> <u>19,000</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,500円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,400円</u> 増しとすること。
(略)	(略)	<u>11,600</u> <u>17,300</u> <u>25,200</u> <u>13,200</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,100円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,850円</u> 増しとすること。
(略)	(略)	<u>12,100</u> <u>17,600</u> <u>23,900</u> <u>10,300</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,000円</u> 増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,600円</u> 増しとすること。

## (イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>4,500</u> <u>4,500</u> <u>7,650</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>3,950</u> <u>4,400</u> <u>7,350</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>3,800</u> <u>4,350</u> <u>7,100</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>6,750</u> <u>5,050</u> <u>10,100</u>	

B－3	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>14,500</u> <u>24,200</u> <u>40,500</u> <u>18,400</u>	エアクッションソケットは、 <u>15,100円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>16,600円</u> 増しとすること。
B－4	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>11,400</u> <u>17,000</u> <u>24,700</u> <u>12,900</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,800円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,550円</u> 増しとすること。
B－5	アルミニウム、セルロイド 皮革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>11,900</u> <u>17,300</u> <u>23,500</u> <u>10,200</u>	エアクッションソケットは、 <u>12,700円</u> 増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,150円</u> 増しとすること。

## (イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,400</u> <u>4,450</u> <u>7,500</u>	
	A－2	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>3,850</u> <u>4,300</u> <u>7,200</u>	
	A－3	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>3,750</u> <u>4,300</u> <u>6,950</u>	
義 足 用	B－1	皮革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>6,550</u> <u>4,950</u> <u>9,850</u>	

	(略)	(略)	<u>5,150</u> <u>4,650</u> <u>6,600</u> <u>9,250</u> <u>42,200</u>	
	(略)	(略)	<u>5,800</u> <u>4,800</u> <u>9,200</u> <u>10,250</u> <u>45,500</u>	
	(略)	(略)	<u>4,200</u> <u>4,450</u> <u>6,800</u> <u>7,900</u> <u>36,500</u>	
	(略)	(略)	<u>4,500</u> <u>7,250</u> <u>7,750</u>	
注) 1・2 (略)				

(ウ) 支持部

名 称	価 格 円	備 考
(略)	<u>13,600</u>	
(略)	<u>10,800</u>	
(略)	<u>10,700</u>	
(略)	<u>16,300</u>	
(略)	<u>16,200</u>	
(略)	<u>10,700</u>	
注) 1 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、 <u>8,950円</u> 増しとすること。 2 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、 <u>10,500円</u> 増しとすること。		

	B－2	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮 革 ・ フ ェ ル ト シ リ コ ー ン	<u>5,000</u> <u>4,600</u> <u>6,500</u> <u>9,050</u> <u>41,100</u>	
	B－3	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮 革 ・ フ ェ ル ト シ リ コ ー ン	<u>5,650</u> <u>4,750</u> <u>9,000</u> <u>9,950</u> <u>44,200</u>	
	B－4	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡樹脂 皮 革 ・ フ ェ ル ト シ リ コ ー ン	<u>4,100</u> <u>4,400</u> <u>6,700</u> <u>7,750</u> <u>35,500</u>	
	B－5	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡樹脂	<u>4,400</u> <u>7,050</u> <u>7,600</u>	
注) 1・2 (略)				

(ウ) 支持部

名 称	価 格 円	備 考
肩 義 手 用	<u>13,400</u>	
上腕義手用	<u>10,700</u>	
前腕義手用	<u>10,600</u>	
股 義 足 用	<u>16,100</u>	
大腿義足用	<u>16,000</u>	
下腿義足用	<u>10,600</u>	
注) 1 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、 <u>8,750円</u> 増しとすること。 2 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、 <u>10,300円</u> 増しとすること。		

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品

区 分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考	
(略)	(略)	<u>胸郭バンド式肩ハーネス一 式</u>	<u>21,200</u>		
		(略)	<u>10,700</u>		
	(略)	<u>胸郭バンド式上腕ハーネス 一式</u>	<u>21,000</u>		
		(略)	<u>10,700</u>		
		(略)	<u>9,750</u>		
	(略)	<u>胸郭バンド式前腕ハーネス 一式</u>	<u>17,900</u>		
		(略)	<u>7,850</u>		
		(略)	<u>5,050</u>		
		(略)	<u>5,100</u>		
(略)	(略)	(略)	<u>15,200</u>	(略)	
		(略)	(略)		<u>7,350</u>
	<u>肩吊り帯</u>		<u>6,400</u>		
	(略)		<u>8,750</u>		
	(略)		<u>1,650</u>		
	(略)	(略)	<u>2,150</u>		
		(略)	(略)		<u>8,750</u>
			(略)		<u>2,300</u>
			(略)		<u>11,600</u>
<u>P T B カフベルト一式</u>	<u>8,750</u>				
注)					
1 ～ 4 (略)					
5 <u>差込式下腿義足用軽便式の懸垂用膝カフ</u> は、 <u>P T B カフベルト</u> に準ずること。					

(オ) 外装

名 称	価 格 円	備 考
(略)	10,800	
(略)	8,550	
(略)	7,600	
(略)	27,100	

(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品

区分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考	
義 手 用 ハ ー ネ ス	肩 義 手 用	胸郭用ベルトハーネス一式	20,900		
		肩たすき一式	10,500		
	上腕義手用	胸郭用ベルトハーネス一式	20,700		
		肩たすき一式	10,500		
		8 字ハーネス一式	9,550		
	前腕義手用	胸郭用ベルトハーネス一式	17,600		
		8 字ハーネス一式	7,700		
		9 字ハーネス一式	4,950		
		上腕カフ（三頭筋パッド）	5,000		
義 足 懸 垂 用 部 品	股 義 足 用	懸垂帯一式	14,900	(略)	
	大腿義足用	シレジアバンド一式	7,200		
		肩吊帯	6,250		
		腰バンド	8,600		
		横吊帯	1,600		
		義足用股吊帯	2,050		
	下腿義足用	腰バンド	8,600		
		横吊帯	2,250		
		大腿もも締め一式	11,300		
		P T B 膝カフ一式	8,600		
注)					
1 ～ 4 （略）					
5 下腿義足差込式用軽便式の懸垂用膝カフは、 P T B 膝カフに準ずること。					

(オ) 外装

名 称	価 格 円	備 考
肩 義 手 用	10,600	
上腕義手用	8,400	
前腕義手用	7,500	
股 義 足 用	26,700	

(略)	21,700	
(略)	19,400	
(略)	17,100	
注) (略)		

オ～キ (略)

備考

(略)

(3) 装具

区 分	名 称	基 本 構 造	使用材料・部 品及び工作法	価 格	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
	先天股脱装具	先天股脱に用いられる 装具で、両側下肢に及 ぶものを基本とすること。 A (略) B <u>フォンローゼン型</u> (略) C・D (略)			
	(略)	(略)			
(略)	(略)	足部に対する装具で あって、靴型装具以外 のもの A (略) B <u>メタターサルサ ポート</u> (中足支え) 足の中足アーチを支 えるもの C・D (略)			(略)
	(略)	(略)			
	(略)	(略)			(略)

大腿義足用	21,400	
膝 義 足 用	19,100	
下腿義足用	16,800	
注) (略)		

オ～キ (略)

備考

(略)

(3) 装具

区 分	名 称	基 本 構 造	使用材料・部 品及び工作法	価 格	備 考
下肢装具	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
	先天性股脱装 具	先天性股脱に用いら れる装具で、両側下肢 に及ぶものを基本とす ること。 A (略) B <u>ホンローゼン型</u> (略) C・D (略)			
	(略)	(略)			
	足底装具	足部に対する装具で あって、靴型装具以外 のもの A (略) B <u>メタタルザルサ ポート</u> (中足支え) 足の中足アーチを支 えるもの C・D (略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
(略)	(略)	(略)			(略)

(略)	(略)	(略)			(略)
	側弯症装具	脊柱側弯症の矯正に用いるもの。原則として24時間の連続装着しうるものであること。 A <u>ミルウォーキー型</u>  B (略)			
(略)	(略)	(略)			(略)
	手関節背屈保持装具	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	M P 屈曲補助装具（ナックルベンダー）及びM P 伸展補助装具（逆ナックルベンダー）	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	B F O（食事動作補助器）	(略)			(略)

ア・イ (略)  
ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	価 格 円		備 考
		採 型	採 寸	
(略)	(略)	25,700	7,800	
		39,500	15,400	
		29,000	14,750	
		18,700	7,450	
		17,100	7,250	
		15,500	7,100	
		11,200	6,100	
		21,700	7,700	
		23,400	7,800	
		49,500	14,300	

体幹装具	(略)	(略)			(略)
	側弯矯正装具	側弯症の矯正に用いるもの。原則として24時間の連続装着しうるものであること。 A <u>ミルウォーキーブレイス</u> B (略)			
上肢装具	(略)	(略)			(略)
	手背屈装具	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	M P 屈曲装具（ナックルベンダー）及びM P 伸展装具（逆ナックルベンダー）	(略)			(略)
	(略)	(略)			(略)
	B. F. O（食事動作補助器）	(略)			(略)

ア・イ (略)  
ウ 基本価格

名 称	採 型 区 分	価 格 円		備 考
		採 型	採 寸	
下肢装具用	A－1	25,200	7,700	
	A－2	32,000	8,450	
	A－3	21,800	7,850	
	A－4	18,400	7,350	
	A－5	16,800	7,150	
	A－6	15,300	7,000	
	A－7	11,100	6,000	
	A－8	21,300	7,600	
	A－9	22,900	7,700	
	A－10	48,500	14,100	



(略)	(略)	<u>15,500</u> <u>11,200</u>	<u>7,100</u> <u>6,100</u>	
(略)	(略)	<u>30,200</u> <u>23,500</u>  <u>23,000</u> <u>7,100</u>  <u>19,700</u> <u>7,000</u>  <u>17,300</u> <u>6,750</u>	<u>8,200</u> <u>7,550</u>  <u>7,100</u> <u>7,100</u>  <u>6,950</u> <u>6,950</u>  <u>6,750</u> <u>6,750</u>	
(略)	(略)	<u>31,400</u> <u>17,000</u> <u>15,500</u> <u>13,700</u> <u>11,000</u> <u>8,250</u>	<u>8,300</u> <u>7,250</u> <u>7,000</u> <u>6,800</u> <u>6,200</u> <u>4,400</u>	
<p>注)</p> <p>1 (略)</p> <p>2 補高足部（脚長差を補正するために使用する義足用足部をいう。以下同じ。）を使用する場合は、32,700円増しとすること。</p> <p>3 補高足部は、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。</p> <p>4 補高足部場合は、エのイ)のbの付属品等の加算要素として補高の価格を加算することができないこと。</p> <p>5 採型によりカーボン製装具の製作にチェック用装具を要する場合、用いたチェック用装具の形状に応じ、次に掲げる額（複数に該当する場合、それらの合計額）を加算できること。</p> <p>(1) チェック用装具が「大腿部」を含む場合 <u>16,600円</u></p> <p>(2) チェック用装具が「下腿部」を含む場合 <u>15,500円</u></p> <p>(3) チェック用装具が「足部」を含む場合 <u>9,100円</u></p>				
エ 製作要素価格				
(ア) 下肢装具				
a 継手				
名 称	種 類	価 格 円	備 考	
(略)	<u>固定式</u> <u>遊動式</u>	<u>6,000</u> <u>7,150</u>		

靴型装具用	B－1 B－2	<u>15,300</u> <u>11,100</u>	<u>7,000</u> <u>6,000</u>	
体幹装具用	C－1 C－2 C－3 (金属枠、硬性) (軟性) C－4 (金属枠、硬性) (軟性) C－5 (金属枠、硬性) (軟性、骨盤帯)	<u>29,600</u> <u>23,100</u>  <u>22,600</u> <u>7,000</u>  <u>19,300</u> <u>6,900</u>  <u>17,000</u> <u>6,650</u>	<u>8,050</u> <u>7,450</u>  <u>7,000</u> <u>7,000</u>  <u>6,850</u> <u>6,850</u>  <u>6,650</u> <u>6,650</u>	
上肢装具用	D－1 D－2 D－3 D－4 D－5 D－6	<u>30,800</u> <u>16,700</u> <u>15,200</u> <u>13,500</u> <u>10,800</u> <u>8,150</u>	<u>8,200</u> <u>7,150</u> <u>6,900</u> <u>6,700</u> <u>6,100</u> <u>4,350</u>	
<p>注)</p> <p>1 (略)</p> <p>2 補高用足部（脚長差を補正するために使用する義足用足部をいう。以下同じ。）を使用する場合は、32,200円増しとすること。</p> <p>3 補高用足部は、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。</p> <p>4 補高用足部場合は、エのイ)のbの付属品等の加算要素として補高の価格を加算することができないこと。</p> <p>(新設)</p>				
エ 製作要素価格				
(ア) 下肢装具				
a 継手				
名 称	種 類	価 格 円	備 考	
股 継 手	<u>固定</u> <u>遊動</u>	<u>5,950</u> <u>7,050</u>		

(略)	固定式 遊動式 プラスチック継手	5,900 6,400 13,700	
(略)	固定式 遊動式 プラスチック継手	4,950 5,850 10,150	
<div>注</div> <div>1 固定式継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。</div> <div>2 遊動式継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。</div> <div>3 銅線支柱は、遊動式の価格とし、片側 1 単位とすること。</div> <div>4 短下肢装具用の板バネ支柱は、足継手の遊動式の価格とすること。</div> <div>5 (略)</div>			

b 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
(略)	(略)	4,450 7,700 15,300 25,200 10,300	
(略)	(略)	4,250 6,550 11,900 23,400 8,800	
(略)	(略)	2,400 13,300 6,900 13,800 7,600 800	(略) (略)    (略)

注

1 ・ 2 (略)

膝 継 手 (片 側)	固定 遊動 プラスチック継手	5,800 6,300 13,400	
足 継 手 (片 側)	固定 遊動 プラスチック継手	4,850 5,750 10,000	
<div>注</div> <div>1 固定継手は、継手のない支柱を使用する場合にのみ用いることができること。</div> <div>2 遊動継手は、継手のある支柱を使用する場合にのみ用いることができ、固定・遊動切替式のものも含まれること。</div> <div>3 銅線支柱は、遊動の価格とし、片側 1 単位とすること。</div> <div>4 短下肢装具用の板バネ支柱は、足継手の遊動の価格とすること。</div> <div>5 (略)</div>			

b 支持部

名 称	種 類	価 格 円	備 考
大腿支持部	A 半月 B 皮革等 1 カフバンド 2 大腿コルセット C モールド 1 熱硬化性樹脂 2 熱可塑性樹脂	4,350 7,550 15,000 24,600 10,100	
下腿支持部	A 半月 B 皮革等 1 カフバンド 2 下腿コルセット C モールド 1 熱硬化性樹脂 2 熱可塑性樹脂	4,200 6,450 11,700 22,900 8,600	
足部	A あぶみ B 足部 1 皮革等 大 小 2 モールド (熱硬化性樹脂) 3 モールド (熱可塑性樹脂) C 標準靴	2,350 13,000 6,800 13,500 7,450 800	(略) (略)    (略)

注

1 ・ 2 (略)

- 3 大腿支持部の坐骨支持式は、20,700円増しとすること。
- 4 下腿支持部のP T B式、P T S式及びK B M式は、14,200円増しとすること。
- 5 足板の補強を行った場合は、9,350円増しとすること。
- 6 カーボンは、筋力が著しく低下した方に必要であると判断された場合に用いることができることとし、カーボンを使用した場合は、それぞれ以下の額とすること。
  - (1) 大腿支持部 52,900円
  - (2) 下腿支持部 53,000円
  - (3) 足部のモールド 38,400円

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
膝サポーター	(略)	<u>15,800</u> <u>7,200</u>	
キャリパー		<u>18,100</u>	
ツイスター		<u>5,200</u> <u>3,150</u>	
デニスブラウン		<u>2,500</u>	
膝当て		<u>4,250</u>	
T・Yストラップ		<u>4,900</u>	
スタビライザー		<u>16,800</u>	
ターンバックル		<u>5,550</u>	
ダイヤルロック		<u>8,050</u>	(略)
伸展・屈曲補助装置		<u>4,350</u>	(略)
補高足部		<u>47,700</u>	
足底裏革 (すべり止め用)		<u>1,800</u>	
高さ調整		<u>3,500</u>	
内張り		<u>2,000</u> <u>1,600</u> <u>1,200</u>	

(注)

- 1～4 (略)
- 5 補高足部とは、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。
- 6 補高足部は、完成用部品を加算することができること。
- 7～9 (略)

- 3 大腿支持部の坐骨支持式は、20,200円増しとすること。
- 4 下腿支持部のP T B支持式、P T S支持式及びK B M支持式は、13,900円増しとすること。
- 5 足板の補強を行った場合は、9,200円増しとすること。  
(新設)

c その他の加算要素

名 称	種 類	価 格 円	備 考
膝サポーター	軟性 (支柱付き) 軟性 (支柱なし)	<u>15,400</u> <u>7,050</u>	
キャリパー		<u>17,800</u>	
ツイスター	軟性 鋼製ケーブル	<u>5,100</u> <u>3,100</u>	
デニスブラウン		<u>2,450</u>	
膝当て		<u>4,200</u>	
T・Yストラップ		<u>4,850</u>	
スタビライザー		<u>16,500</u>	
ターンバックル		<u>5,450</u>	
ダイヤルロック		<u>7,900</u>	(略)
伸展・屈曲補助装置		<u>4,300</u>	(略)
補高用足部		<u>46,600</u>	
足底裏革 (すべり止め用)		<u>1,800</u>	
高さ調整		<u>3,450</u>	
内張り	大腿部 下腿部 足部	<u>1,950</u> <u>1,600</u> <u>1,150</u>	

(注)

- 1～4 (略)
- 5 補高用足部とは、健肢とに大幅な脚長差が生じる場合にのみ加えることができること。
- 6 補高用足部は、完成用部品を加算することができること。
- 7～9 (略)